

相談事例

ID: 02-02-037

相談タイトル

金属屋根の塗装替え工事施工後の塗膜剥がれについて

Q: ご相談内容

3年前に自宅トタン屋根の塗装替え改修工事を行った。昨日の強風の影響か屋根塗装が5～10センチ程度の塗膜片30～40枚程剥がれていた。施工した業者に連絡し見てもらったところ、これは経年劣化によるものなので、塗装材料は問題ないと言われた。保証期間内（5年保証）なので、工賃はかからないが、再度施工するには材料費を請求すると言われた。3年前の塗装替え改修工事は50万円弱かかっている。やり直してもらってもまた剥げてしまうのでは困る。そもそも塗装替え工事は3年程で剥がれてきてしまうものなのか。3年前の施工方法は、磨いて、さび取りをして、下地を塗ってと書いてあったが、実際に現場を見ていたわけではないので、その通り実施されていたかはわからない。

A: 回答

一般的にはリフォーム専門業者が行った塗装替え改修工事で3年程で塗装面がはげてしまうことはあまり考えられません。金属屋根で5～10cm程の塗膜片が多数剥がれたという症状ですと、既存の金属屋根面と塗装材料との接着性などの相性が合わないことが考えられます。金属屋根の塗装下地処理を充分行うとともに新たに塗る塗装材料との接着性を確保するための措置が必要と考えます。3年前に施工した業者が、前回と同様の施工仕様で再度施工する場合は、また数年で剥がれてしまうことも考えられますので、今回の剥がれに対してどのような対策を行い施工するかの説明を受けることが良いと思います。前回と同様に行う予定であれば、他の塗装業者に一度現地を見てもらいアドバイスを受けることも一つの方法だと考えます。